

【続報】新型コロナウイルスによる物流への影響

新型コロナウイルスの感染者数は全世界で130万人を超え、死者は7万人に達しています。国・地域別で死者数が最も多いのはイタリア、スペイン、米国と続き、これらの3か国で世界の死者数の半数以上を占めています。本号では世界各地における物流への影響を中心にお伝えします。

1. 各地における物流への影響

現時点で確認された各地における物流の影響は以下のとおりです。

【アメリカ】

- ・メリーランド州ボルチモア港の Seagirt Marine Terminal はコンテナ貨物取扱量の減少により、4月8日・10日の2日間閉鎖予定となっています。他の5つのターミナル（Dundalk、Fairfield、Masonville、North Locust Point、South Locust Point）は通常通りオペレーションを継続しています。
- ・ロサンゼルス港はオペレーションを継続しており、現時点で港湾職員の感染は確認されていません。
- ・ジョージア州サバナ港では、ターミナル運営は24時間体制を継続していますが、土曜のトラックゲートを閉め、月曜から金曜の運営に切り替えると発表しています。

【インド】

- ・国内10カ所超の主要港に対し、全土封鎖に伴って発生した貨物の保管料や船舶の停泊料を免除するよう指示しています。
- ・全土閉鎖は4月14日まで続く予定であり、各港での貨物の積み下ろしには遅れが生じています。
- ・また、インド最大の運送業者団体 全インド自動車運送業会議（AIMTC）は、通勤手段である公共機関が動いていないため運転手や配送施設で積み下ろし作業を行う人員を確保できず、現在稼働しているトラックは全体の5%程との見解を示しています。

【マレーシア】

- ・主要港に保管されている全ての物品の輸送について、4～7日の4日間の期間限定で認められることになりました。
- ・対象の港湾施設はスランゴール州クラン港、ペナン州ペナン港、ジョホール州の各港、マラッカ州マラッカ港、パハン州クアンタン港、サラワク州ピントウル港の各港と、タイとの陸路国境のペルリス州パダンブサルであり、各港の倉庫は保管能力限界の貨物が滞留しているため、全ての貨物を倉庫から搬出させる予定です。

【フィリピン】

- ・ルソン島全域で外出・移動制限が実施されている影響でコンテナが滞留し、マニラ港の処理能力が限界に近付き、閉鎖の危機に直面しています。運輸省や港湾当局は荷受業者らに早急な引き取りを強く要請しており、法的措置に基づいて保管期限が過ぎたコンテナを強制的に廃棄処分することを視野に入れています。具体的には、無料保管期間の短縮や滞留への重い罰金・罰則の導入、入港した船舶からの30日以内の荷降ろし、その後10日以内の引き取りを義務付け、違反した場合は貨物を強制的に廃棄処分する方針を示しています。
- ・マニラ港閉鎖による影響は大きく、食品などの生活必需品や医療関連の物資が供給できない事態になりかねないため、比較的余裕のあるマニラ北港へのコンテナの移動が進められていますが、状況は改善されていません。
- ・また、3月1日以降に陸揚げされ通関を待っているコンテナは2万1,387TEUで、うち1,400TEUが冷蔵・冷凍コンテナと報じられています。通関をトラック運送業者・団体連合によると、関税局の人員が最小限になっているため、申請手続きにかかる時間が通常の2倍に伸びているとのこと。

【ミャンマー】

- ・ミャンマー第2の都市であるマンダレー管区は、食品などを輸送する車と自家用車を除く車両の出入りと通行を7日～21日まで停止しています。農産物をヤンゴンなどへ運ぶ物流の重要拠点ですが、貨物車両は禁止対象外であり、食品供給への影響は少ないとみられています。
- ・中国政府が4月1日から、雲南省と国境を接するシャン州ムセからの入国につき貨物車両を除き禁止しました。中国側は、ムセ地区のゲート6カ所でミャンマー人の中国への入国を禁止しています。貨物車両については、マンワイン（Manwain）、カインサンチョー（Kayinsankyawt）の2カ所のみ受入れが認められています。

【ベトナム・カンボジア・ラオス国境】

- ・4月1日からベトナムとラオスおよびカンボジア国境を往来する全ゲートを閉鎖し、人の出入国を一時停止しました。
- ・一方で、ベトナムとカンボジアの国境の通関ゲートは通常通り機能しています。検疫をクリアすれば国境貿易が可能な状態であり、南部アンザン省のカインビン国境ゲートは、1日当たりトラック約40台が利用しています。
- ・カインビン国境ゲートでは車両消毒、運転手のマスク着用確認と検温を実施しており、荷動きに変化はありません。

【香港】

- ・広東省深セン市政府は、香港から入境する全ての貨物車両の運転手に対して、指定の健康認証コードと「PCR法」による新型コロナウイルス検査の陰性結果証明の提出を義務付けると発表しています。

【中欧班列】

- ・中国～欧州間の航空貨物便の減少により運賃が高騰し、鉄道を使用した輸送のニーズが増加しています。また、海上輸送においても中国の工場が閉鎖されていたため荷量が減少し、運航数も減少しており鉄道輸送の需要が高まっています。

2. 弊社グローバルネットワークのご案内

前述のように各国政府からの指示により行動制限が発生しているものの、現時点では海外拠点の弊社社員、海外クレームエージェントを含め、リモートワークなどを活用してお客様対応を継続しております。事故発生の際には、下記の損害サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kaigai_network/



【出典】

<https://www.freightwaves.com/news/volume-decline-spurs-baltimore-terminal-to-close-for-two-days>

<https://www.ttnews.com/articles/port-savannah-eliminates-saturday-truck-operations>

<https://www.nna.jp/news/show/2029008> <https://www.nna.jp/news/show/2028889>

<https://www.nna.jp/news/show/2028937> <https://www.nna.jp/news/show/2027836>

<https://www.nna.jp/news/show/2028302> <https://www.nna.jp/news/show/2027622>

<https://www.nna.jp/news/show/2026493> <https://www.nna.jp/news/show/2027136>

<https://www.nna.jp/news/show/2026394> <https://www.nna.jp/news/show/2029293>

マリンピックスのバックナンバーはこちら



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。